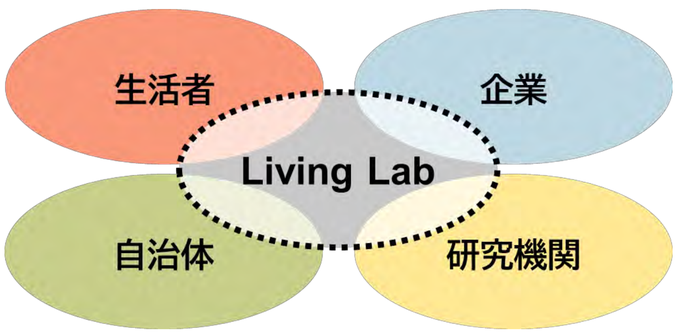
共創型イノベーションを支える仕組みとしての「リビングラボ」の研究

- 生活者を含む多様なステークホルダの共創を通じて、新たな社会-技術システムをつくる「リビングラボ」に関する研究を進めています
- 共創プロジェクトを効果的に支えるための「仕組み」としてのリビングラボの理論化、方法論化を進めています

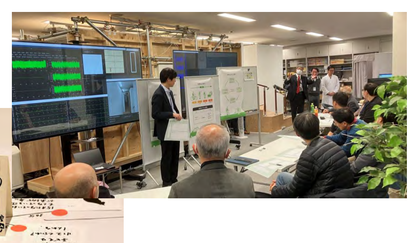


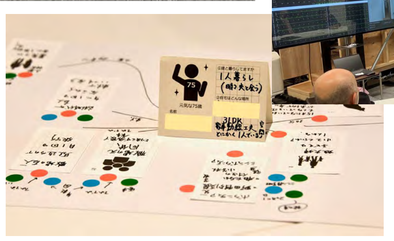
リビングラボ（Living Lab）：
多様なステークホルダによる共創を通じて、サービスをリビング（生活空間）でラボ（実験的に創出）するための仕組み（環境およびプロセス）

リビングラボの実践・事例調査

- 多様な領域を対象にしたリビングラボの実践
- 国内外の優良なリビングラボ事例の調査







みんなのまちづくりスタジオ
KASHIWA-NO-HA
一緒に未来を動かそう。

リビングラボの理論化・方法論化

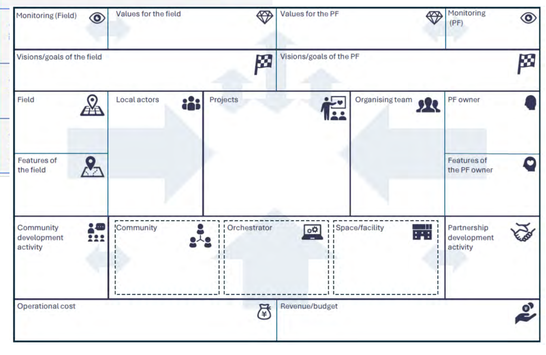
- リビングラボの実践を支援する手法やフレームワーク、汎用ガイドラインの開発







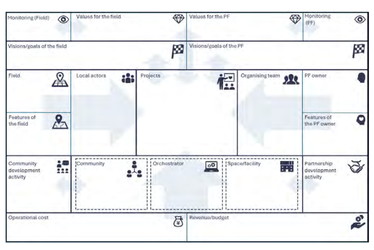




【これまでの成果物等】



リビングラボの
セルフアセスメント
ツール



Platform-level
Living Lab Canvas



ENoLL Living Lab
booklet 日本語翻訳版



リビングラボ
ガイドブック3部作



共創推進コミュニティ
（企業連携ネットワーク）

赤坂　文弥
情報・人間工学領域 人間社会拡張研究部門
ソシオデジタルサービスシステム研究グループ
連絡先:M-rihsa-liaison-ml@aist.go.jp

RiHSA 人間社会拡張研究部門

25TH ANNIVERSARY

産総研 ともに挑む。つぎを創る。